

中央区

平成26年(2014年)4月

まちづくり会議通信

◆このリーフレットは、中央区のまちづくりに関する様々な課題や情報を、地域の皆さまと共有するためにお届けいたします。

第10号

1 平成26年度から、中央区まちづくり会議は変わります

3月3日に開催された平成25年度第4回中央区まちづくり会議において、「①テーマの見直し」と「②会議運営体制の見直し」の2点について承認されました。

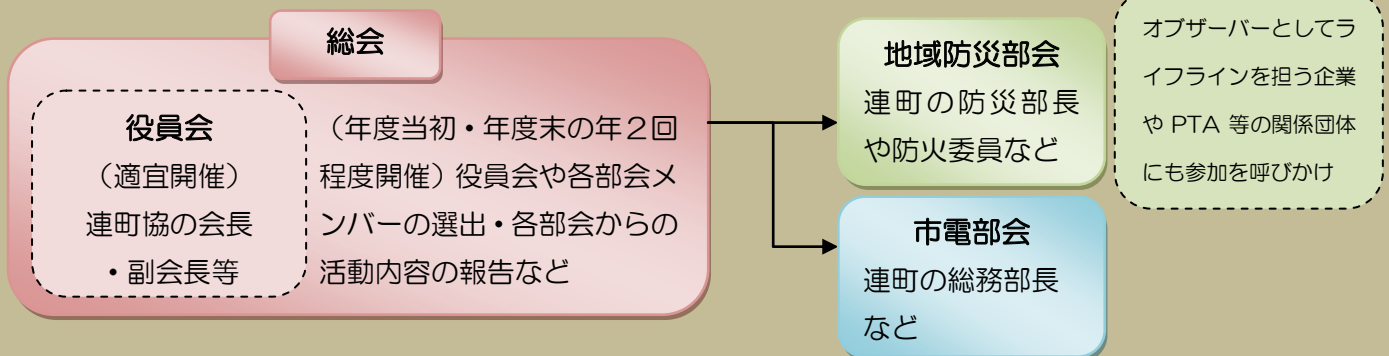
① テーマの見直しについて～新たに「市電を活かしたまちづくり」がテーマに加わります

中央区まちづくり会議では、平成22年度の設立当初から「**地域防災**」をテーマに取り組んできましたが、平成26年度からは、中央区の資源である「**市電を活かしたまちづくり**」を新たなテーマに加えます。

テーマが複数になることによって、より幅広い範囲で地域の皆さまとの情報共有・意見交換を進めてまいります。



② 会議運営体制の見直しについて～各テーマごとの部会制になります



- 2つのテーマについて、それぞれ「**部会**」を設置し、より少人数で実務的な議論を進めます。
- 総会の回数を年2回程度に減らす代わりに、各部会を開催し、運営を強化します。
- 新たに「**役員会**」を設置し、その意向を踏まえながら会議運営を進めます。

中央区まちづくり会議通信では、これからも地域のみなさんに対し、総会や各部会の様子など、まちづくりに関する情報提供を進めてまいります。

2 平成25年度中央区避難場所運営実務研修について

1月14日(火)に平成25年度第3回中央区まちづくり会議として、市立二条小学校を会場として「平成25年度中央区避難場所運営実務研修」が実施されました。この研修は、大規模な災害が発生した時の避難場所運営に関する基本的な事項を再確認し、地域の方々にも収容避難場所の自主運営などをご理解いただくことを目的として、平成16年度から各区持ち回りで毎年実施されているものです。研修では、①避難場所運営実務研修、②女性の視点を取り入れた避難所運営のプログラムに関する講演、③避難所運営ゲーム(HUG)を実施し、地域の方々、学校教職員、中央消防団などの関係団体、市職員など、100名以上が参加しました。

① 避難場所運営実務研修～実際に災害時の避難所となる体育館を使用し、避難所の開設・運営を体験～



受付・避難者名簿の作成



地区ごとに避難スペースを割当



水道局による仮設給水栓の設置

② 講演「女性の視点を取り入れた避難所運営のプログラムについて」



講師：(株)インタラクシオン研究所
代表 安田 睦子氏

～女性の視点から見て、避難所の開設・運営で配慮する5つのこと～

- ① 生活環境(プライバシーや衛生問題)～ダンボールで間仕切りする。授乳室を作るなど
- ② 安全・安心～仮設トイレは男女別に。トイレの他、更衣室等の場所や照明、巡回に配慮
- ③ 物資の不足と管理～女性用品は女性から配布する。女性避難者のニーズを把握する
- ④ 性別や年齢による活動の固定化を防ぐ(炊き出し・子育て・介護等)
- ⑤ 心身の健康～男女問わず、心身の健康問題を相談できるように専門家と連携する

★また、平時から女性の防災リーダーを育成することが大切です

③ 避難所運営ゲーム(HUG)～学校の図面に、避難者に見立てたカードを配置して模擬避難所運営～



次々と避難してくる人をどこへ配置するか、どんな配慮が必要か話し合いました



避難者へ提示する生活ルールを作成



最後は、班ごとに考えた生活ルールについて、講評がありました

<発行> 中央区まちづくり会議事務局(中央区市民部総務企画課)

〒060-8612 中央区南3条西11丁目中央区役所 TEL011-205-3205 FAX011-261-2991